

# インフルエンザ対策について



## 咳エチケット

**不織布製のマスクを着用し、咳・くしゃみエチケットをこころがけましょう。**

咳エチケットを心掛けることは、周囲にウイルスをまき散らさない効果があるだけでなく、周りの人を不快にさせないためのマナーにもなります。



## マスクを持っていない場合

ティッシュや腕の内側で口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう  
鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳・くしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。



## 予防接種

特に高齢者や基礎疾患のある方では、罹患すると重症化する可能性が高いと考えられます  
インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、仮にかかったとしても重症化を抑える効果があります。  
13歳以上の方は、インフルエンザワクチン0.5mlの1回接種を原則としています。



## 入所施設等における感染防止対策

**施設内にインフルエンザウイルスが持ち込まれないようにすることが重要です。**

### 職員自らが感染源にならない

発熱などを認めた場合は速やかに医療機関で診察を受けます。  
施設では感染した場合の方針を決め、急な休みの職員が出ても対応できる体制作りが必要です

### 面会者や訪問者

施設に入る前に、手洗いや手指の消毒をお願いし感染が疑われる人や感染した人は訪問を控えてもらいます。  
施設の入り口など目に触れやすいところにインフルエンザに関するポスターを掲示するなどして周知徹底をします。

### 施設内の衛生管理

テーブルや手すり、ドアノブなど人が触る部分はこまめに拭き、床は定期的に清掃し雑巾やモップは十分に洗浄、乾燥させ施設内の衛生管理をします。

### 利用者の異常の徴候の早期発見に努めた介助

感染者を個室状態にします。感染者が複数いる場合は、感染者を同一の部屋にします。  
発生状況の正しい把握をします。  
施設内で広げない、地域へ持ち出さない対策をします。  
施設内での共同利用場所では活動の一時停止を検討します。